

# 森泉荘だより

発行日  
平成20年 5月 1日

〒018-4515 北秋田市阿仁前田字下前田家の下モ28番地  
特別養護老人ホーム 森泉荘  
TEL (0186) 75-3204 FAX (0186) 75-3205  
メールアドレス shinsensou@gamma.ocn.ne.jp

No. **40**



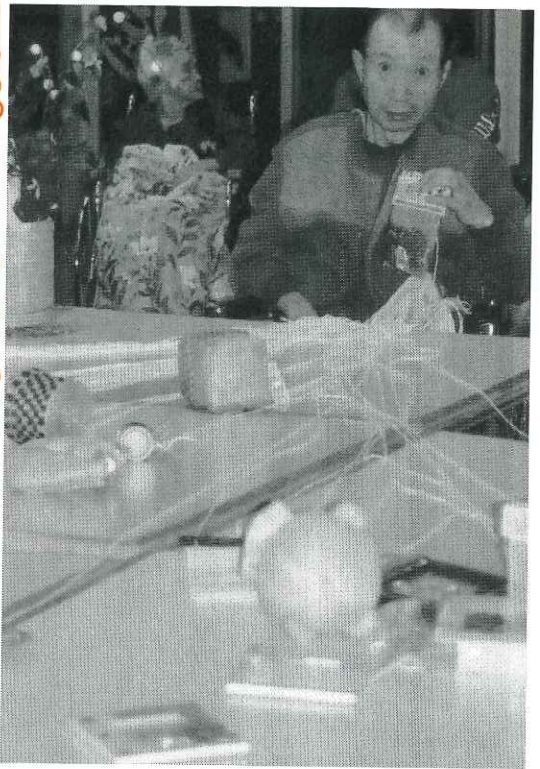
## ～素敵な笑顔が いっぱい～

紅白に分かれての風船バレー大会。  
大きな風船を追いかける真剣な眼差  
し、アタックが決まる度に大きな歓  
声上がり、体を動かし楽しい時間  
を過ごしています。





# 春を呼ぶ 節句や行事



**宝引き大会**

皆さん揃って新年を迎えられ、晴れ晴れとした笑顔で新年会が行われました。色とりどりのおせち料理のお弁当を前に喜びいっぱいの様子でした。ごちそうに舌鼓し満腹になった後は、まちに待った宝引大会です。たくさん品物を前に目が輝きます。声援が飛ぶ中、初の宝を手に入れようとばかり紐を引く手にも力が入ります。それぞれ引き当てた品物を大事そうに持ち帰る姿がありました。

「利用者の皆さんが今年も元気に良い一年が過ごせますように」職員一同願っています。



## もちつき大会

12月28日、森泉荘ホールで一年を締め括る行事ともいえる餅つきが行われました。勇ましく杵を振りおろす男性職員と、姉さんかぶりに勢いよくあいどりをうつ女性職員。昔ながらの光景に目を細め見入る利用者たちでした。その姿に自然と「よいしょ、よいしょ」と掛け声がかかりました。

その後は皆でつきたての餅を手際よく丸め、施設に飾るお供えをこしらえました。一年間健康で過ごせた事に感謝し、新しい年を迎える準備が整いました。



### 節分行事

一年の無病息災を願い、「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、鬼に扮した職員に豆やボールを投げ付け邪気を払いました。利用者の方の威勢の良さに、鬼役の職員も夕シタジ。

また、節分には、豆を年の数だけ食べると良いとされていますが、ある利用者の方は「そんなに九十個も食べられない」と、周囲の笑いを誘いました。



### うれしいひなまつい

ひな人形は災いを代わりに引き受けてくれるとして、女の子の幸せや健康を願い飾るもの。

利用者の8割が女性の当森泉荘でも、ひなまつりにあやかり今年も健やかに春を迎えようとひな人形が飾られました。

女性にとつては、いくつになっても心がうきうきする行事。この日のために用意された冠をかぶったお互いの姿に目を細め、飾りびなの華やかなお顔に、それぞれ若かりし日のお嫁入り姿を重ねて見ているのではないのでしょうか。



### 手作りだまっこ

暦の上では春でも、まだまだ寒さの厳しい秋田。そんな日はやっぱり鍋に限ります。特に名物のだまっこ鍋は格別なようで、利用者の中には「だまっここのほうがたんぽよりも好きだ」と話す方もいるほど。

この日は自分達でだまっこ作りに挑戦。大小様々な個性あふれるだまっこが出来上がりました。仲間同士楽しみながら作り、熱々の鍋を囲んだ時間こそが何よりのごちそうです。まるいまるいだまっこに心までまるくなり、自然と笑みがこぼれました。



# ふれあい

利用者の肩もみをしながら、はずかしそうに話しかけてくれた前田小学校の子供達、かわいらしい踊りや、すばらしいハンドベルの音を響かせてくれた浦田小学校の子供達。  
 おなじみの秋田民謡や歌に合わせての華麗な手踊りを披露していた岩谷キミ子シヨ、奥山源蔵シヨ。利用者には歌いかけながら握手をする場面では、感激の涙を流す利用者も見られ、たくさんのふれあいがあり楽しいひとときを過ごしました。



▲岩谷キミ子さんによる歌にうっとり



▲浦田小学校のみなさんによるかわいらしいダンス



▲岩谷さんの衣装にもまた、見とれて…



▲奥山源蔵ご一行さまによる歌と踊り



▲世代を超えての交流



▲前田小学校のみなさんによる肩もみ

# ボランティアありがとう



▲神成婦人部のみなさん

▲巻瀧婦人部のみなさん



▲森吉婦人部のみなさん



▲ヨスモス会のみなさん

\*\*\*\*\*

手先の器用な、吉田ツキエさん。若い頃から縫い物が得意だったと話され、自分で縫



よしだ 吉田ツキエさん

\*\*\*\*\*

現在ベッド上での生活をされていますが、元気な頃は歌が好きで時々歌声を聞かせてくれる事もあった草薙さん。今でも入所時からいる職員の名前を忘れずにいてくれて、声掛けすると嬉しそうに笑顔で挨拶して下さいます。これからも笑顔の絶えない草薙さんでいて下さい。



くさなぎ ひで 草薙英さん

## 年女

## ねずみ年生

「サクラ会 代表 九嶋シヅエさん」  
今から想い出しても何やらわからぬ昔のことである。ボランティアのきつかけを云々……との原稿依頼があったから振り返って見たもの、混沌として想い浮かばない。すでに十七年が過ぎようとしている。何がきつかけなんだっけ？最初はどうだったっけ？齢八十の身には難題である。そしてまた一向に気にならぬのもうまくしたもの。もしかすると基本的に楽天的なのは天の采配なのかも知れない。何はともあれ活動は限定されていて（実際おしめをた

たんだり裁縫したり……：それも込み入った事は友が受け持ってくれている。私に出来ることは知れている。だけでも、そう。友を誘い、その助けを貸りて時には汗をかき、時には笑いながらここまで来れたのは奇跡に思えてならない。何か社会の役に立たなければとの想いが空回りしなかつたのはいつしよに活動する（楽しんで初めて成り立つものである。であれば『人の有り難み特別に自覚できる時間』としてのボランティア活動であろう。友よ、そして多くの人々よ。



まさしく生かされていることを意識させてくれた人達よ。ありがとう。本当にありがとう。これからも友とあなたと私に、貴重な時間をより長く与えられんことをいつも願っている。

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

庄司さんは、入所時とても元気に歩いており、軽作業を手伝ってくれていました。また、車イスになってからもリハビリを頑張り、リクリエーションも積極的に参加していました。



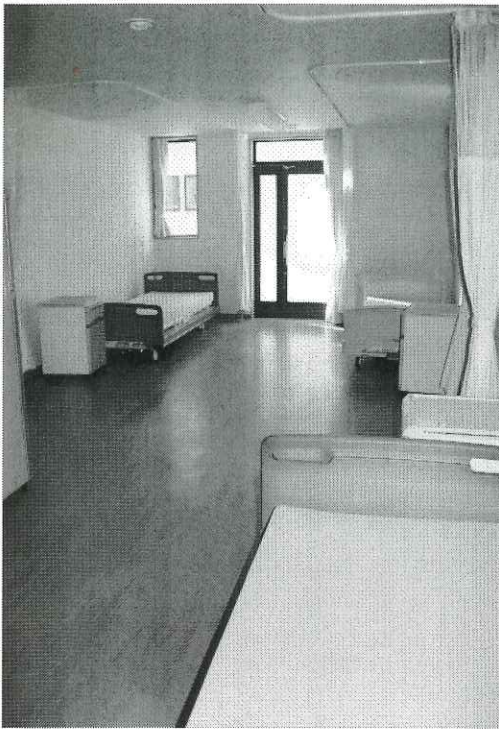
しょうじ 庄司トキエさん

\*\*\*\*\*

# 短期入所居室増床

—機能訓練室もリニユーアル—

森泉荘では、このほど短期入所居室を増築しました。これによって受け入れも6床が増床したほか、機能回復訓練室もリニユーアル、レクリエーションや機能訓練に快適なスペースが創出されました。  
短期入所(ショートステイ)は、家族の方が諸般の事情で一時的に居室での介護ができない場合にその間、介護者に変わり施設でお世話をするサービスです。入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の支援や機能訓練を行います。ぜひご利用ください。



増築した短期入所居室



機能回復訓練室

## 善 意

(H19. 10. 1~H20. 2. 1)

(団体)

- 福田薬局
- 花の店やまだ
- 森吉地区日赤奉仕団
- 北秋田市社会福祉協議会

あいかわ地域福祉センター

- ジェイエイ大館・北秋田葬祭センター
- (株)かんきょう
- 小又婦人会

(個人)

- 山本ヤエ子
- 高杉 義博
- 佐藤 重夫
- 佐藤惣右エ門
- 織田カツエ
- 森川 征子
- 櫻井 正一
- 石川眞利子

## ボランティア紹介

(H19. 10. 1~H20. 2. 1 敬称略)

### 演 芸 披 露

(団体)

- 岩谷キミ子音楽事務所
- 奥山源蔵ご一行

### 作 業 奉 仕

(団体)

- 森吉婦人会
- 巻瀧婦人会
- 前田地区神成婦人会
- 米内沢地区

- 森吉地区民生児童委員協議会障害者部会
- コスモス会

(個人)

- 佐藤 栄子
- 細田 怜子
- 松橋 キノ
- 石郷岡ヒサ
- 九嶋シヅエ
- 北村レイ子
- 疋田 博子
- 近藤 ミヤ
- 嘉成ムツ子
- 金 シキ子
- 九嶋 トイ
- 九嶋 サダ
- 九嶋 キヨ
- 九嶋 チヨ
- 九島 テイ
- 武石 イツ
- 鈴木ミツエ
- 春日チエ子
- 岸野キヨ子
- 若松 チナ
- 春日 英子

## 受入・研修学習状況

- 秋田看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科施設実習 (平成19年9月19日~10月5日 2年生 1名)

## ふれあい体験

- 浦田小学校児童
- 前田小学校児童

## 編集後記

久しぶり“普通の冬”と言う見出しを新聞に見付けました。前半と後半、寒暖差は大きかったものの平均気温は、ほぼ平年並みだったそうです。昨シーズンが記録的暖冬、二〇〇五―〇六年は大雪で厳冬と近年、極端な冬が多かったが、久しぶりに“普通の冬”に戻ったようです。  
なお、当施設の冬はと言うと中庭には、バナナの木に実を付けており暖かな冬です。近くに来た際は、ぜひ、施設自慢のバナナの木をご覧ください。

(K・S)